



11/18

障がい者スポーツを身近に感じて*

氷川町子ども会車いすバスケットボール

宮原体育館において、車いすバスケットボール体験会が開催されました。

北京パラリンピックで4位に入賞された平井美喜さんが、所属するチームの皆さんが、子どもたちに障がい者スポーツを身近に感じてほしいと開催された活動になります。

実際に車いすに乗るとプレーがとても難しく、車いすバスケットボールならではの面白さに子どもたちも大喜びでした。



▲日本代表選手と一緒に記念撮影

11/13

未来の科学者誕生か？*

第77回科学展で熊日ジュニア科学賞を受賞

熊本県教育委員会主催の「熊本県科学研究物展示会」(第77回科学展)において、宮原小学校4年生の井上友愛さん(新村南)が熊日ジュニア科学賞を受賞しました。

この科学展は、夏休みの自由研究等を通じて、科学に対する興味・関心を喚起するとともに、児童生徒の科学する心を育成することを目的として、毎年開催されています。



▲「最高の糸電話はこれだ！」で受賞しました

11/22

学校と地域の連携で目指す教育*

第12回「次世代」育成推進フォーラム in 氷川町

氷川町公民館において、第12回「次世代」育成推進フォーラム in 氷川町が開催され、約170人の参加がありました。

氷川中学校2年生の山根史央さん(東上宮)のバイオリン演奏からはじまり、学校運営協議会やPTA、婦人会や民生委員など、地域の代表の人によるパネルディスカッションが行われました。



▲文部科学省木村直人参事官からもご講話いただきました

11/22

業務精励の功績を称えて*

早川猛さん黄綬褒章伝達式

役場庁議室において、早川猛さん(北鹿野)への黄綬褒章伝達式が行われました。

早川さんは、独学でイグサ栽培加工技術の研鑽を重ね、最高級畳表「ひのさらさ」ブランドの確立に大いに貢献された功績が認められ、今回の黄綬褒章の受章となりました。

「農業者の仲間や関係者の皆さまのご支援とご指導があつたからこそその受章と思っております。皆さまに感謝します。」と話されました。



▲イグサ栽培への貢献に黄綬褒章

11/30

ICTを効果的に活用した授業を実践

氷川町小・中学校研究発表会

時代の変化に対応しながら学び続ける氷川っ子の育成について考えていく貴重な機会となりました。

午後からは竜北中学校の体育館で全体会が行われ、氷川町のこれまでの取組を振り返り、今後の方向性を考えるパネルディスカッションや、鹿児島大学の山本朋弘先生による講話が行われ、これから求められる学校像や授業像のお話をされました。

「ICTを活用した『未来の学校』創造プロジェクト研究発表会」が行われ県内外から関係者が参加しました。氷川町は平成27年度から熊本県教育委員会の指定を受けてICTの効果的活用に関する研究を進めています。午前中は竜北西部小学校と竜北中学校で、ICTを活用した公開授業と授業研究会が行われました。



▲先生たちも理解を深めました



▲貴重な講話を頂きました

12/14

長年の功績を認められ

高山登さん瑞宝単光章受章

平成29年度秋の叙勲者で、高山登さん（立神）が、危険業務従事者として瑞宝単光章を受章されました。高山さんは自衛官として長年、国防の任に従事された功績が認められ今回の受賞に結び付きました。お話を伺うと「拝謁を受け大変感激した。自分が過去に歩んできた事を認めていただけたことはとてもありがたいことです。」と話されました。



▲藤本町長に報告された高山登さん（立神）

11/26

緑あふれるふるさtoを目指して

八代地域植樹活動

立神峽里地公園において八代地域植樹活動が開催され45人の参加がありました。この活動では、植樹を通じて、地域緑化の普及・推進を図り、ふるさtoの自然を愛する心を養うことを目的として毎年行われるものです。活動の中で緑化関係表彰やハナミズキ、ドウダンツツジなどの記念植樹が行われ緑化活動の大切さを学ぶ貴重な一日となりました。



▲たくさんの緑をふるさtoに